

清瀬市教育委員会 殿

学校名 清瀬市立清瀬第四小学校  
校長名 長 沼 正 城

### 令和6年度教育課程

標記の件について清瀬市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおり届け出ます。

#### 記

#### 1 教育目標

##### (1) 教育目標

平和で民主的な社会の形成者としての資質と自他の生命、人格、人権尊重の精神をあらゆる教育活動の基本に据え、自ら学ぶ意欲と心豊かにたくましく生きる力を身に付けた児童の育成を目指し、以下の教育目標を設定する。

- すなおな明るい元気な子
- なかよく力を合わせる子
- よく考えやりぬく子(重点目標)
- 自然に親しむ子

##### (2) 教育目標を達成するための基本方針

###### ① 「すなおな明るい元気な子」を育成するために

- よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的価値についての理解を基に、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育成する。
- よりよい人間関係の構築のための「気持ちのよい挨拶交流」の場を設定する。
- 体育授業の運動量20分間の確保や、マッスルデー(体育的活動)等において、体力向上に向けた取組を推進する。

###### ② 「なかよく力を合わせる子」を育成するために

- 協働して取り組むよさを実感させる場を意図的に設定し、満足感・成就感を高める活動を重視する。
- 縦割り班活動において、高学年児童に自覚と責任ある行動をとらせることで、豊かな社会性を養う。また、低・中学年児童に高学年を手本とし、役割を果たす態度を育成する。
- 特別支援教育の充実を図り、配慮を要する児童について全教職員が児童個々の情報を共有し、一人一人の児童の思いに寄り添ったり一人一人に最適な学び方を生かしたりすることで、個々の児童の力を伸ばしていく。

###### ③ 「よく考えやりぬく子」を育成するために

- 基礎的な学力の向上や粘り強さ・意欲の向上について保護者との連携を密にし、家庭の教育力の向上を図る。
- 学んだ知識や理解した内容を基に、思ったことや考えたことを豊かに発信できるような言語力の育成を推進する。
- 「ユニバーサルデザインの考え方」を基にして「わかりやすい授業」の充実を図る。
- 学習に向かう姿勢や円滑な取組を通して認知力を養い、集中力を高めることを重視する。
- 個別最適化の学習を意図し、一人1台端末を活用した授業や家庭学習を推進する。
- 学年の児童の実態に応じて育てたい資質・能力を明確にしたカリキュラム・マネジメントを実践することを重視する。
- トーゴ大使館と協力した国際理解教育等の活動において、中学生を招いたり6年生による中学校体験を行ったりするなど四中との連携を深め、小中連携教育を充実させる。

###### ④ 「自然に親しむ子」を育成するために

- 各学年段階に応じた自然体験・栽培・観察活動の充実により、実感を伴った理解を深め、課題発見・課題解決能力を育む。